

「農地利用最適化推進 1・2・3 運動」と「人・農地プラン」の取組状況について

1 これまでの取り組み【ステップ1】

(1) 意向調査の実施状況

- ① 平成 27 年度から「農地及び農業経営等に関する調査」実施
- ② 平成 29 年度から「今後の経営意向」や「後継者の有無」の質問を追加
- ③ 平成 30 年度に市全域をカバーした調査を実施

(2) 平成 30 年度調査の概要

① 調査対象

- 10 アール以上の農地を耕作し、かつ農地を所有する市内の世帯(6,775 経営体)
- 市内の農地所有適格法人(32 法人)

② 調査方法

- 平成 31 年 1 月 1 日現在で経営意向等を調査【郵便で送付・回収】
- 上記とは別に、農業委員・農地利用最適化推進委員が、自身が居住する集落を中心に調査票(一人 40 世帯程度)を手配りして回収

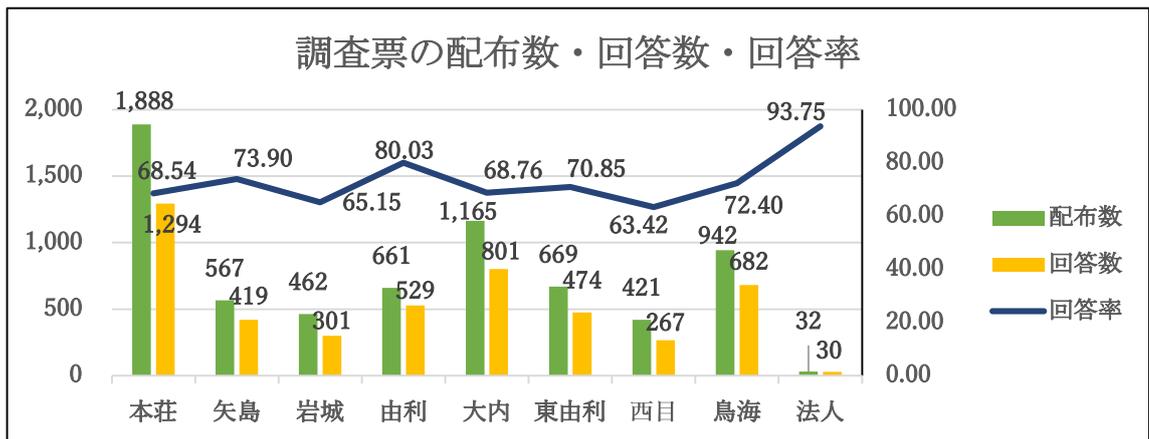
(3) 平成 30 年度調査結果の概要

① 調査票の回答状況等

● 地域別一覧

地域等	配布数	回答数	回答率 (%)
本 荘	1,888	1,294	68.54
矢 島	567	419	73.90
岩 城	462	301	65.15
由 利	661	529	80.03
大 内	1,165	801	68.76
東由利	669	474	70.85
西 目	421	267	63.42
鳥 海	942	682	72.40
法 人	32	30	93.75
合 計	6,807	4,797	70.47

● 地域別グラフ

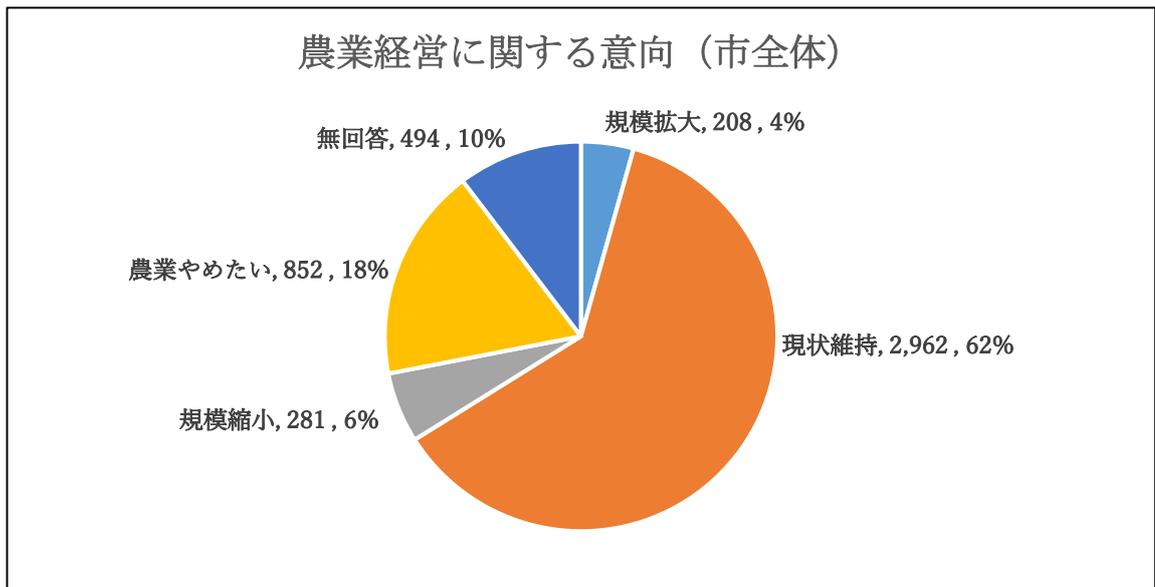


② 今後の経営意向（概ね3年後の経営をイメージして回答）

● 地域別一覧

地域等	規模 拡大	現状 維持	規模 縮小	農業 やめたい	無回答	「規模縮小」「農業や めたい」の割合 (%)
本 荘	58	771	61	245	159	23.64
矢 島	33	236	24	81	45	25.05
岩 城	11	166	21	62	41	27.57
由 利	19	310	50	95	55	27.41
大 内	29	534	42	129	67	21.34
東由利	14	312	22	78	48	21.09
西 目	11	156	26	43	31	25.84
鳥 海	14	468	34	118	48	22.28
法 人	19	9	1	1	0	6.66
合 計	208	2,962	281	852	494	23.61

● 経営意向（市全体）のグラフ



● 調査結果から

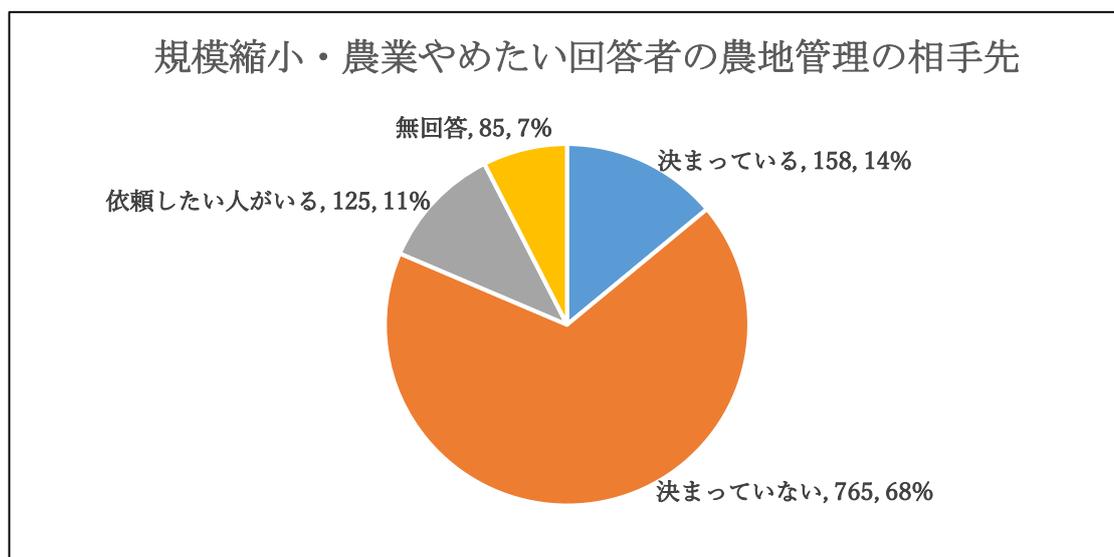
- 1) 市全体では、208 経営体（4%）が「規模拡大」の意向を示し、「現状維持」と回答した経営体は 2,962（62%）に上った。
- 2) 「規模縮小」を考えている経営体は 281（6%）、「農業をやめたい」と回答した経営体は 852（18%）に達し、合計 1,133 経営体（24%）が将来的に農業経営と距離をおきたいと考えている様子がうかがえる。経営意向を回答しなかった経営体は 494 経営体（10%）であった。
- 3) 「規模拡大」と回答した経営体が考えている農地集積の具体的なイメージと課題を聞き取ることが重要。
- 4) 「規模縮小」「農業をやめたい」と答えた経営体には、今後の農地管理を託す相手について聞いた。

③ 規模縮小・農業をやめたいと答えた方の農地管理の相手先

● 地域別一覧表

地域等	「規模縮小」「農業をやめたい」回答者数	決まっている	決まっていない	依頼したい人がいる	無回答	「決まっていない」の割合 (%)
本 荘	306	60	198	26	22	64.70
矢 島	105	11	74	11	9	70.47
岩 城	83	13	57	8	5	68.67
由 利	145	16	100	21	8	68.96
大 内	171	30	109	20	12	63.74
東由利	100	8	64	15	13	64.00
西 目	69	13	45	7	4	65.21
鳥 海	152	7	117	16	12	76.97
法 人	2	0	1	1	0	50.00
合 計	1,133	158	765	125	85	67.51

● 規模縮小・農業をやめたい回答者の農地管理の相手先（市全体）のグラフ



● 調査結果から

- 1) 「規模縮小」「農業をやめたい」と回答した経営体に、今後の農地の管理を託す相手の有無を聞いた。
- 2) 「決まっている」と答えた経営体が 158 (14%)、「依頼したい人がいる」と答えた経営体が 125 (11%) であり、合計しても 283 経営体 (25%) にとどまった。
- 3) 765 経営体 (68%) は「決まっていない」と回答し、将来の農業経営の継承は厳しい局面が推測される。
- 4) 「決まっていない」と答えた経営体が、規模縮小や離農後の農地管理をどう考えているか、担い手に貸し付ける意向などを聞き取り、担い手につなげる仕組みづくりを検討する必要がある。

2 意向調査以後の取り組み【ステップ2及び3に向けて】

(1) 人・農地プラン主管課と農業委員会事務局の連携を協議（平成30年12月協議開始）

- ① 経営意向等調査結果の「人・農地プラン」への活用方法の検討
 - 農業者の意向等を反映した地図の作成（農地ナビとは別に）
 - 売りたい・貸したいと回答した農地面積をプランに位置づける予定
- ② 効果的な地域の話し合いの実施方法の検討
 - 西目地区集落営農組織情報交換会（県主導）に委員が参画（平成31年3月）
 - 地域・集落等における話し合いの推進 → 「担い手研修会」への参画へ

(2) 地域の「担い手研修会」と農業委員会との連携（令和元年7月～）

担い手農家や法人、集落営農組合等が、将来の地域農業のあり方について意見交換することとし、人・農地プランの「地域の話し合い」に位置づけ

- ① 農業委員・農地利用最適化推進委員が、関係する地域の「担い手研修会」に出席
- ② 意向調査結果の概要と課題について、委員が報告
- ③ 農業委員会総会で「担い手研修会」への参画状況を報告して共有

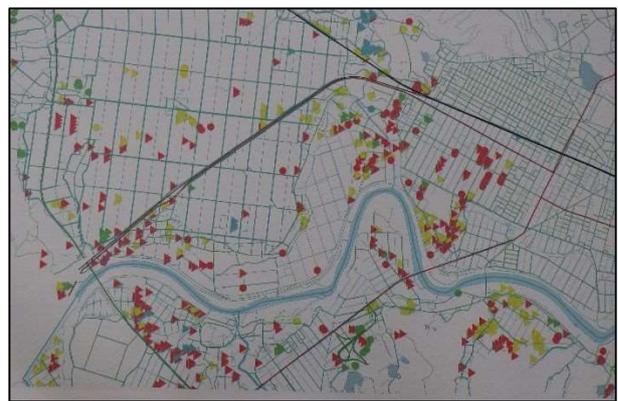
(3) 委員による「自発的な話し合い」に進展

農業委員と農地利用最適化推進委員が、調査で「規模拡大」の意向を示した担い手等に声をかけ、「自発的な話し合い」を実施（委員が司会や情報提供を担った）

話し合いでは

- ・「規模拡大を考えている担い手」の氏名をアナウンスして集積できないか。
- ・農地の集約が進むような農地利用調整を望む。
- ・息子が農業を継ぐと言うようになり、少なから規模拡大できると思っている。今は「耕作してくれないか」という出し手を待っている。

…といった意見も聞かれた



3 終わりに

人・農地プランの実質化に向けた話し合いは始まったばかりで、手探りが続いている状態だが、農業者の意見は必ずしも後ろ向きなものばかりではない。農地を農地として担い手に継承するにはこうした話し合いが欠かせないし、この繰り返しが「実質化」そのものとも言える。しかし、担い手のやる気だけにその農地継承の成否を委ねるのも酷なこと。出し手・受け手の実情を聞き、話し合いで明らかになる課題とその解消に向けて、行政をはじめとする関係者の連携と必要な施策の展開が待たれる。

「農地利用最適化推進1・2・3運動」と「人・農地プラン」の取組状況について

1 由利本荘市の人・農地プラン

(1) プラン数

平成24・25年度に、旧市町村（1市7町）単位により、作成方針を決め、81プランを作成。（旧々町村単位、旧町単位、生産組合単位、中山間直接支払協定単位）

平成28年度からの秋田県の「本格的な人・農地プラン」の推進により、本荘地域14プランを7プランへ統合（旧々町単位を基本とする）

(2) 作成方針

認定農業者については、原則中心経営体へ位置づけを行う。目標の集積面積は、経営改善計画やアンケート等により把握。

将来の内の出し手となる者の農地については、座談会での聞き取りや、農地中間管理機構の資料より把握。

→ 今年度は、農業委員会で行ったアンケート結果をプランへ反映させる。

(3) 既に実質化されたプラン

判断基準：対象地区内の過半の農地について、近い将来の農地の出し手と受け手が特定されている区域

由利本荘市74プランの内、60プランにおいて実質化されていると判断

- ・近い将来の農地の出し手の経営面積が過半を超えているプラン：42プラン
- ・農業委員会で行ったアンケート結果の将来の出し手農地を加算し、過半を超えたプラン：18プラン

2 実質化が必要なプランの今後の対応

実質化されていると判断されなかった14プラン

本荘地域：3プラン（旧々町村にて話し合い等が必要）

大内地域：7プラン（生産組合単位のプランで定期的に座談会を開催）

鳥海地域：4プラン（中山間直接支払協定単位のプランで定期的に話し合いを開催）

本荘地域については、関係機関で構成する「担い手ワークショップ」が主導して行う、地域農業の今後のあり方等を話し合う「担い手研修会」を開催し、実質化を進める。

本荘地域以外では、普段より地域の話し合いを行っており、農業委員会のアンケート結果を反映した図面を使用し、中心経営体の掘り起こしや集積を進める。

3 終わりに

実質化されたプランの区域、実質化されていないプランの区域に関係なく、地域農業の存続のためには、地域の話し合いが必要。特に稲作を主とする地域においては、今後さらに経費を絞るためには、農地の集約化・集団化は、必然であり、プランの精度を上げていかなければならないと考える。